

町田市立図書館協議会
第13期 第7回 協議会議事録

日時：2010年4月20日（火）
午前9時30分 ～ 午前11時30分
場所：町田市立中央図書館 6F 中集会室

第13期第7回町田市立図書館協議会

2010年4月20日(火)

(出席者)

(委員)

松尾 昇治 委員長	水越 規容子 副委員長	石井 清文 委員
勘解由小路 承子委員	久保 礼子 委員	山口 洋 委員
白柳 美智子 委員	沢里 冬子 委員	

(事務局職員)

守谷図書館長 近藤図書副館長 由良庶務係主査 小林庶務係主査

(欠席者)

山口 好司 委員 市川 美奈 委員

(傍聴者)

0名

(内容)

- 1) 館長報告
- 2) 館長報告に対する質疑応答
- 3) 館長の諮問事項の検討日程について

(配布資料)

- ・館長報告
- ・第13期図書館協議会諮問事項協議日程(案)
- ・これからの図書館運営について
- ・町田市立図書館組織図

(議事録)

<就任挨拶>

町田市教育委員会教育長 渋谷 友克

町田市教育委員会生涯学習部長 安藤 源照

<図書館協議会>

松尾委員長、水越副委員長、勘解由小路委員、久保委員、白柳委員、石井委員、山口洋委員、沢里委員自己紹介

図書館長より欠席委員の紹介。

(教育長、部長退席)

図書館長：館長報告1番4月1日付け人事異動について、昇格の職員だけ紹介します。

松尾委員長：どうぞ。

近藤図書副館長、神田課長補佐、吉岡課長補佐、下元主査、芝崎主査、野口主査挨拶。(退

席)

図書館長：異動により協議会担当が交代した。

小林挨拶。

松尾委員長：館長報告1が終わり、2以降を館長お願いします。

図書館長：2の2010年度予算の概要について、常勤職員の人件費を除いて図書館の年間経費は約6億です。ここに示しているのは一般財源の数字。ほかに広告ラックの収入などがあります。(以下「2010年度図書館予算資料」の説明)3の「町田市立図書館の現状と課題」については、<協議事項>1の諮問事項の検討日程について、まず話し合い頂いて、それでいいよということであれば、市立図書館の現状と課題についてご報告することといたしたいが…。

松尾委員長：館長報告の1.2が終わりまして、協議事項の1諮問事項の検討日程についてご了承頂ければ、報告事項3「町田市立図書館の現状と課題」を館長からプレゼン頂きたい。

まず2010年度予算について質問等ありましたら出していただきたい。

松尾委員長：資料費なのですが、図書費には図書、雑誌、視聴覚資料…のほかに何が。

図書館長：ここには有料のデータベース借用料等も含まれます。

勘解由小路委員：有料のデータベースの拡充の可能性はありますか？

図書館長：今年度も内容を少し見直して有料のデータベースをグレードアップしたのがあります。

勘解由小路委員：やはり代行検索というか自分でできないのですね？

図書館長：ええ。町田の場合市民の方が自由にアクセスできるパソコンの設置がいまのところ認められないという感じがあって。

勘解由小路委員：そこをクリアしないといけないのではないのでしょうか。

図書館長：鶴川駅前では、実現したいと思っはいますけれど。

図書館長：予算総額は、図書館と文学館合わせて6億1533万8千円です。常勤職員の人件費を除いた額です。

松尾委員長：予算書の写しを次回いただくとわかりやすい。

図書館長：次回用意致します。

松尾委員長：協議事項1に入りたいと思います。協議日程(案)の3協議日程ですけれど、前回のお話の内容を館長のほうでまとめていただいたものです。如何でしょうか？

図書館長：関係者ヒアリングは実際の職員の声を聞きたいと要望がありましたので、5月6月にそれをあてる。一人15分ほど話すとしても1回では苦しい。地域館の職員も代表で入れるかもしれません。

松尾委員長：図書館の概要については、今後も必要と思われればいつでもできることと思いますので、館長の提案が良いと思います。

原案については館長に作っていただいたものを、委員長、副委員長と相談し

て皆さんに「これでいいですか？」という形にしたい。

全体の協議日程についてはよろしいでしょうか？

勘解由小路委員：他の先行しているサービスがあると思うのですが、そういう諸事情を知りたいと思います。

松尾委員長：どのようなものでしょうか？

勘解由小路委員：課題を洗い出すためにも、ほかの市ではできているが町田ではできていないものというのがあります。今は出来ない、しかし目指すべきものです。それがサービス理念だと思います。先進サービスどんなものがあるのか、具体的に良さ、各委員が認識するものでないかと思っています。8月休会なので各委員が、各自一個でも情報を得られれば、こういうサービスをしている所があるのかとか得られると思いますので、如何なものでしょうか？

松尾委員長：論点整理の前の段階で各市図書館の先進的などころを知っておくことですか。

勘解由小路委員：先進的と言うのか、良い所もありますし悪い所もあります。客観的に見て、目から鱗のサービスもあるかもしれません。そういうところを調査あるいは認識する必要があるのではないかと思います。

松尾委員長：8月を調査の月にあてて、9月を報告にあてても良いのかなと思います。

それぞれ調査して、報告する内容を取り入れたいと思いますが？

久保委員：論点整理は必要だとは思いますが、この委員のなかでも得意分野がありますよね。その部分で論点整理のときに積極的に発言するというのはいかがでしょうか？そのほうが深い話ができる。

松尾委員長：そうしましたら9月に入る前の段階で、柱の部分を7月にやっておいたらどうかとおもうのですが。

白柳委員：先ほど館長さんが仰った担当職員のヒアリングのなかで、市民の声を各分野でくみ上げてもらってとありましたが具体的に見えない。こう言う問題を協議する中では、市民、現場の声はくみ上げられるようできみ上げられない。私の場合は音声訳、障がい者サービスということで色々なリスナーさんとお話する機会があるので、子供とか、いろんな立場の人の図書館に対する要望をもっと具体的に汲み上げられるべきだと思う。答申には生の声がサービス理念とかに生かされるべきと思うのです。誰がどのように汲み上げるのかもちゃんと立てていただきたい。

図書館長：今いろんなご意見伺っていて論点整理は10月だけにして、9月に他市の先進サービス事例ということで各委員の方が気づいた調査の報告、関心の高い分野の報告などあるのではと伺っていたのですが、委員長の方からその前に柱立てを整理する必要があるとご指摘があった。5月6月に関係職員の現状をご報告することを2回設けるなかで、5月はどの分野という括りを作る必要があると思います。その括りがひとつの柱立てになる気がするのですね。いまの障がい者サービスというのはひとつの柱立てに必ずなりますから、そのときに白柳さんは障がい者サービスのバックをお持ちですから、持ち帰って他所の自治体のこともご存知でしょうからいろんな意見も出ると思います。それを9月のときに出していただければ良いかなと思います。

そうじゃなくてもっと一般の市民の声をどう汲み上げるかですが、一つは、去年の秋にやった図書館の実態調査に市民のフリーアンサーがいっぱいあるのです。まだ集約をしてないのですが、図書館に対する不満が結構あります。それを整理してお出しすることで、ひとつは一般市民の意見がわかるかなと思いましたが、出さなければいけないかなと思っています。

松尾委員長：市民の声を聞くということになりますと、図書館に関わる団体全部から聞くというわけには行かないのですけれど、何かいい方法はないでしょうか？

勘解由小路委員：毎日現場で対応している職員は一人一人の市民の声を聞いていると思います。職員の方との懇談でそういうところにも触れていただくというのが良いと思います。「団体」となるとそういうものに属せない人もかなりいると思いますので。

松尾委員長：そちらのほうが多いですね。団体を特定するのは無理だということで。職員の方が窓口で接しながら感じている市民の声を聞きたいと思います。

久保委員：普通の声といっても、例えばすすめる会でいろいろな現場に出ている人がいる。野津田の会でも現場に出ている。すると普通の人の声というのが聞こえてくるので、特別語って頂かなくても、このなかにはいろいろなメンバーの方がいるので、相談することもできますし、声を聞くことは可能だなと思います。

松尾委員長：委員さんのそれぞれのネットワークを有効に活用しながら、意見を反映させることはできますね。

するとどういう風にするかということですが。

沢里委員：相談ですが、7月に図書館活動の実績確認及び評価と書かれていますけれど、これは中間モデルの自己評価に対する評価を協議会はすることになっていますが、本番としての評価をここに位置づけているということでしょうか。

図書館長：そうです。一応このときには評価のメンバーもここに来て説明します。個々の具体的な指標が載っているわけですね。3段階位の評価して、取り合えず図書館の評価としてお出しする訳ですけど、7月の評価は図書館協議会の2次評価、客観的評価としてシステムで位置づけているので、今回の諮問があるなしに関わらず毎年やってもらうことです。そのためにも各サービス分野の全体像の話をしてもらった方がいいと思います。そのなかで今年はここが指標になっていると7月の評価を、意味のあるものにするためにも5、6に全体の話。

ただ5、6に入らない評価もある。例えば館長が関わっている部分もある。そういった部分はその場で入れて頂くことになるのですけれど。

ちょっとご質問の主旨どうまくあったかどうかわからないのですが。

沢里委員：それはとても良いと思うのですが、7月の外部評価は、目標に対してできたかできないかを評価するものではないですよね。図書館として良くできた部分と課題の部分の評価するのが外部ですね。私も大学で評価を経験していますが、受けた評価で、指摘を受けたり改善を求められた場合、次の評価までに具体的にどのように課題をクリアしたか出さなければならない。それを見てまた答えが返ってくるわけです。かなりシビアなものなので、時間が足りないのではないかと。外部評価をまとめるという点で、7月一回だけでは私は責任持てないなという感

じがする。その辺どのように位置付けるか図書館側も協議会側も是非ご検討いただきたい。

松尾委員長：その通りだと思います。評価については7月に出さなければならないか、それが8月9月に延びてもかまわないか？

図書館長：一応こちらで7月に評価していただいたものを踏まえて、8月以降に公表していくということになっている。それはまた評価の担当者と調整をしますので、場合によってはもう一回位入れることになるかもしれない。評価そのものが、こちらでも初めてなものですから、イメージが十分できていないこともあるのですけれども。

松尾委員長：図書館協議会としても初めてなわけで、どのようにしたらよいのかということがあるのですけれど、7月にやるとしても2時間では少ないと思うので、協議会の開催時間を3時間にするとかで日程を組んでもかまわないでしょうか。

図書館長：時間は決まっている訳ではなくて、皆さんがよろしければ、そうしていただけるというなら、ありがたいのですけれども。

松尾委員長：今度は3時間位時間を取ってやる日程を組みましようとか、あるいは9月、10月に、答申を考えながら評価をするということになってしまいますけれど、そのようにやるか。7月一回では厳しい。

図書館長：こちらのほうで評価の担当者と相談させていただいて、またご提案させていただきたいと思うのですけれども。

山口洋委員：これ事前にだいたいこういう項目でまとめようとか、当日東で出されても読むだけで終わるか、終わらないかになってしまう。事前にちょっとづつでも状況がわかっているれば考える余地もあるかと思います。時間延長しても資料渡されてその場で判断しろと言われてもきついですね。

沢里委員：まとめはいつできるのでしょうか。

図書館長：今やっているところです。

沢里委員：それが5月とかに出れば、先に貰ってヒアリング、いろいろ現状を合わせて、職員の方の懇談する中で、それでも2時間でまとめるのは難しいと思うのですけれど、するとある程度地に足の着いた議論ができると思う。

図書館長：本当にそうですね。実際に担当者があるときに、ある程度皆さんに評価の情報が解っていて指摘していただくと良いかもしれない。5、6、7月はセットで、評価担当の記録の進み具合とあわせて調整させてください。

松尾委員長：情報なのですが、西東京市の図書館協議会は去年一年かけて今年3月図書館評価のありかたについてという答申をしたとききました。このような情報は使っていただくのが良い。

図書館長：いろいろなところで取り組みがはじまっていて、図書館大会が奈良であるのですけれど、町田で図書館評価の事例発表をしてくれと言われている。

そういうことで、少し調整します。

松尾委員長：5、6月はヒアリング、7、8、9月は調整しながらやっていきたいと思えます。

今日後1時間で図書館の概要について館長の方からご報告頂く所に入りたくと

思います。

以下、図書館長により「町田市立図書館の現状と課題」の報告

〈報告の項目〉

1. 図書館の使命
2. 図書館の役割
3. 町田市立図書館の現状
4. 公立図書館一般の課題
5. 町田市立図書館の課題
6. 2010年度の主な施策・事業

松尾委員長：今日は報告までで、各委員が検討して、次回から職員の説明を受けて質問等したい。

*****次回以降の日程調整*****

松尾委員長：市川委員が火曜日都合悪い。5月は18日（火）を予定していますが、どうしましょう？

5月18日は決まっていますからこのままで。

図書館長：6月はメールで調整したい。

次回：第8回協議会：2010年5月18日（火）中央図書館6階 中集会室

----- ■